

## ～友と一緒に自由な漁業を！～ 渡邊容平さん（今治市(吉海町)）

1982年生まれ 愛媛漁業協同組合津倉支所



### ☆経営概況☆

夏季（4月から8月）：小型機船底びき網漁業

冬季（9月から翌3月）：のり養殖

### ☆ここがポイント☆

#### ■漁師こそ天職

代々のり養殖をメインとする漁師の家に生まれた私にとって、漁業が一番身近な職業でした。中学3年の冬からのり養殖を手伝い始めましたが、**自分のやったことがすぐ結果として返ってくるので、「漁師って面白い！」**と感じました。本当はその時点で本格的に漁師になりたいかったのですが、親をはじめ周囲から「高校は卒業しろ！」と説得され、仕方なしに高校を卒業した後、漁師になりました。

最初、夏は底びき網、冬はのり養殖を行うため、覚えることはたくさんありました。沖の仕事は父に教えてもらいましたが、普段温厚な父が船の上では急に厳しくなり、よく大声で叱られました。やはり自然相手の仕事のため、一瞬の判断の誤りで大事故につながることもあるので、**安全のためには次に何をしなければならないかを考えながら、周りのことに常に気を配らなければいけない**ことをたたきこまれ、今となっては大変感謝しています。

今では一人で操業できるようになり、漁のスケジュール管理をはじめ**結構自由に仕事を進めることができ**、「漁師って天職だな」と実感しています。

ただ、周りからは婚活して、早く家族を持つという声もよくかけられますが……。そのあたりも**自由に進めたい**と思っています。（自由な漁師が好みって女性いませんか？）

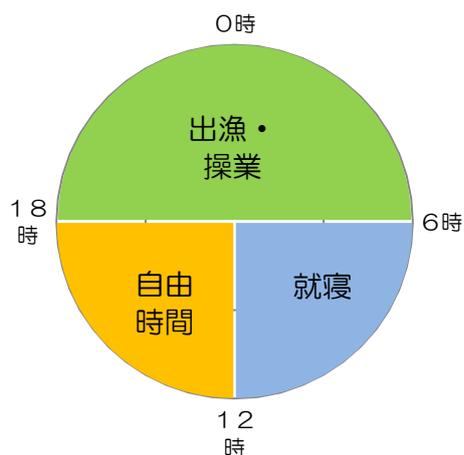


底びき網に使用する漁船



のりの種付け施設

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

■友がいるだけで☆

私にとって漁師の仕事が趣味みたいなもので、あまり外に遊びに行くこともありませんが、そのような生活の中で心休まるのは、同世代の漁師仲間とのたわいもない会話です。会話の内容は本当にどうでもよいことです。言ってみれば男子中学生が話しているような内容です。でもこの素の自分をさらけ出すことができる時間が妙に心地よく感じます。

漁がひと段落する時期には、この仲間とうまいものを食べるための旅行に行ったりしています。昨年は串カツを食べるためだけに大阪に行っちゃいました。

【一週間のライフスタイル（一例）】

| 月    | 火      | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  |
|------|--------|----|----|----|----|----|
| 【夏季】 | 出漁     | 休日 | 出漁 | 出漁 | 休日 | 出漁 |
| 【冬季】 | のり養殖作業 |    |    |    |    | 休日 |



映画のロケにも使われた津倉漁協前で  
(現：愛媛県漁協津倉支所)



モニターを募集して行った漁業体験

☆これからの夢や目指すもの☆

■島の魅力発信へ

私が生活する大島ではサイクリストを見ない日はなく、映画やテレビのロケをみかけることも珍しくありません。島の魅力が認められていることは肌で感じていますが、我々も県漁協津倉支所を核として海の魅力を発信するために体験漁業を実施しようと準備を進めているところです。今後いろいろな体験プログラムを考えていきますので、きれいな「しまなみ」の風景をバックに操業する漁業と一緒に体験してもらえたらいいなと思っています。

☆メッセージ☆

■友達っていいな

この年になっても何でも言い合える友達がいるって本当にいいなと感じます。これから漁師になる人もこんな友達をいっぱいつくって、一緒に漁業を盛り上げていきましょう。